

3	地域の魅力倍増資源活用事業	交付金額	6,000千円	
事業内容	<p>埜町には空家が生じているが、町内にはそれらの情報を把握している不動産業者もなく、移住希望者等に対して情報提供も出来ない状況にある。これらの活用として空家の状況を調査し、その情報の発信や移住希望者へのきめ細やかな相談事業を展開することにより首都圏からの移住促進を図る。</p>			
	事業経費の内訳	金額	KPI	
計画	①空家調査経費：詳細な調査により、提供可能物件を把握する。		移住についての相談件数	20件
	②情報発信経費：相談窓口を設置し、定住促進イベントやインターネットにより情報を発信するとともに、きめ細やかな相談を実施する。			
実績	①空家調査経費：詳細な調査により、提供可能物件を把握する。	6,696,000	提供可能物件数	20件
	②情報発信経費：相談窓口を設置し、定住促進イベントやインターネットにより情報を発信するとともに、きめ細やかな相談を実施する。			
効果検証	<p>調査の結果322件の空家が確認された。そのうち優良と判断された物件が71件で不良、未判定が95件であった。アンケートの結果は20件が活用してもよいとの回答を得る。調査の結果は管理されている空き家の持ち主は空家バンク等への登録は積極的ではない。今後は空家情報を町のホームページなどで空家情報発信をしていく。現在地域おこし協力隊を募集しており埜町の情報発信と空き家情報の発信、移住体験ツアーの企画・実施等を行っていただきたいと思っている。また管理されている空き家を貸していただけるようにする取り組みも必要となってくる。</p>			